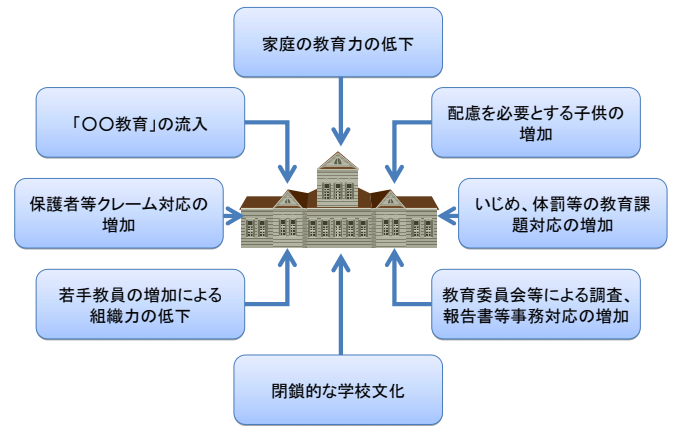


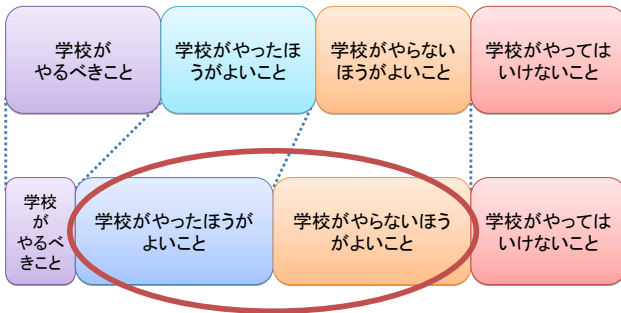
清瀬市教育委員会における校務改善の考え方と実際

平成25年11月20日(水)
清瀬市教育委員会参事
坂田 篤

学校が「多忙化」していると指摘される背景



「多忙化」により学校の機能が低下している現状



問題提起

学校(教師)は本当に多忙なのか

学校(教師)は**全員**が本当に多忙なのか

教育委員会の支援は本当に機能しているのか

「多忙化解消」のためにやらなければならないこと

学校が振り返るべきこと

- 1 特定の教職員に業務が偏っている現状はないか
 - 2 副校長が担当すべきではない業務
- 学校リーダーのマネジメント力**
- 4 校務改善の意識(危機意識)が組織内に共有されているか
 - 5 校務改善に向けた対策を協働的かつ具体的に進める風土があるか

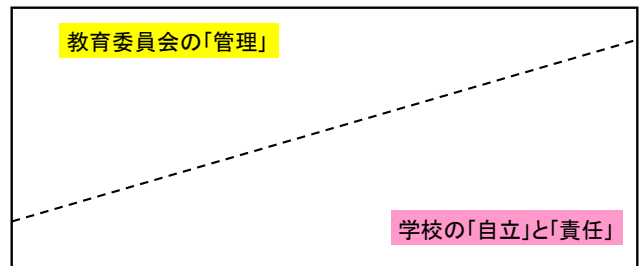
教育委員会が振り返るべきこと

- 1 unnecessary調査や報告書の提出を求める現状はないか
 - 2 無駄な会議や満足度の低い研修
- 教育委員会の「反省」「改善」**
- 4 学校の課題解決支援の機能は適正に稼働しているか
 - 5 各校の校務改善を含めた様々な実践を共有財産化しようとしているか

本市が目指す「組織体としての学校像」

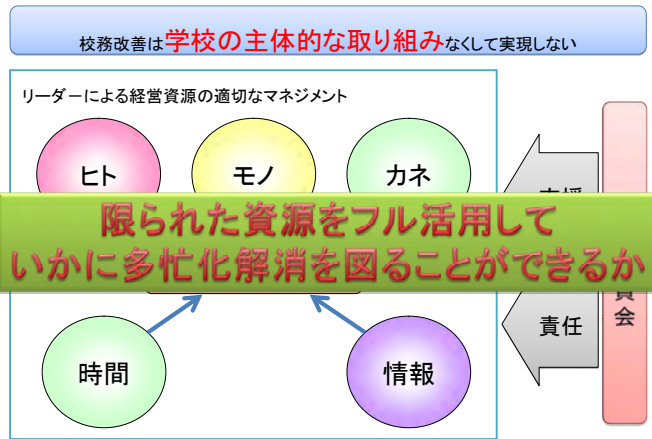
組織の課題は組織が主体的に解決する **自立と責任ある学校**

教育委員会の「指導」「管理」から「支援」へのベクトル

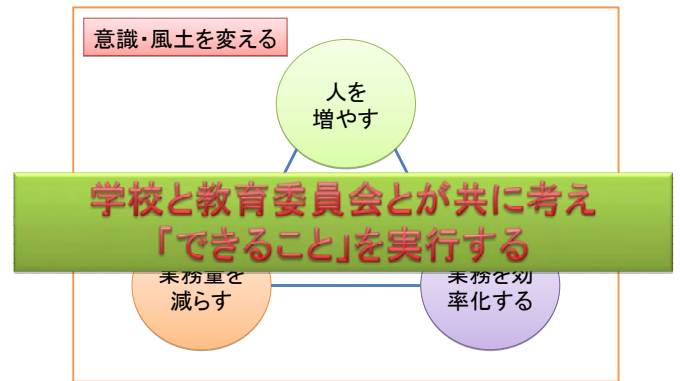


学校が自信を持ち、信頼されるベクトル

「校務改善(多忙化解消含む)」の基本的な考え方



「多忙化解消」の基本的な考え方



本市教育委員会の「支援」(=「責任」)

組織の風土・構成員の意識を変える

- 「特色ある学校づくり事業」における予算編成・執行権の移譲(H24から実施)
⇒「与えられた予算」から「獲得する予算」へ
- 「ボランティア予算」の裁量枠の拡大(H25から実施)
⇒「判断の他者依存」から「判断の自己責任」へ
- 副校長研修(特色ある学校づくり)の実施(H25から実施)
⇒「副校長とはこんなもんだ」から「経営者の一人としてこんなこともできる」へ
- 主幹研修(校務改善)の実施(H25から実施)
⇒「受動的研修」から「企画・提案型研修」へ
- 事務主事研修(校務改善)の実施(H25から実施)
⇒「事務専任意識」から「組織の一員として共に子供を育てる意識」へ
- 「校務改善啓発DVD」の作成(H26計画)
⇒「またやられるのか...」から「もしかしたらやる価値あるかも」へ

人を増やす・人を活用する

- 新任副校長に対する教育センター非常勤教員(元副校長)の年度当初期限付き配置(兼務発令)【H26計画】
- 課題校に対する教育アドバイザー等専門性の高い非常勤教員の期限付き派遣(兼務発令)【H24試行】
⇒精神的・物理的支援、ナレッジの共有、スキルの伝承・継承等複合的効果を期待
- 大学や医療機関等との連携強化による人材バンク化【H25から順次実施】
⇒「必要な時に必要な人を必要な支援のために」の具現化
- 課題校に対する市雇用臨床心理士の派遣【H25から実施】
⇒都派遣心理士と併せた複数配置体制

5 スクールソーシャルワーカーの増員と雇用形態の改善【H26予算要求】

- ⇒非常勤(時間給)職から嘱託員職へ
- ⇒時間をかけて対応する必要性の高い福祉的背景のある子供(家庭)への支援

6 学校を取り巻く人的資源活用のためのシステム作り【H26から試行】

- ⇒「学校支援本部」の設置、「学校教育コーディネーター」の育成
- ⇒学校の負担軽減、地域と学校との協働意識の醸成など複合的な成果を期待

7 経営推進組織の新設を視野に入れた戦略的な人事異動【H25実施】

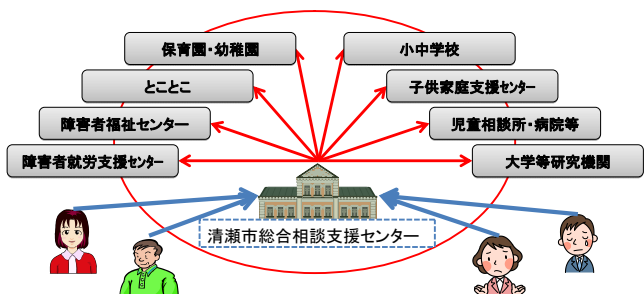
- ⇒管理職と事務主事とのマッチング

業務量を減らす 業務を効率化する

- 重複する調査項目へのマスキングと学校への発出文書量削減への努力【H24より実施】
⇒市独自の調査と都府あい月間調査との調査項目の整合
⇒文書量30%削減の数値目標の設定
- 各種委員会の見直しと研修の再構築【H24から順次実施】
⇒「必要不可欠な委員会の開催」「価値ある研修の実施」を理念とする見直し
- 研修等各種報告書提出見直しと様式の簡素化【H25実施】
⇒巡回支援チームの聞き取りを通じた情報収集等「文書報告主義」の見直し
- 指導課発出メール表題の工夫(発出者や締切日の明記)【H25実施】
⇒例 【指導主事】<要回答>〇月×日>表題
- 「経営相談会」の実施による協働的問題解決【H24から試行】
⇒指導主事、教育アドバイザー、その他専門家の訪問による学校との課題解決の協議及び必要に応じた経営資源の追加投入

7 総合相談支援センター構想の具現化【H30設置計画】

⇒市長部局と教育とが協働した0歳から就労に至るまでの「子育て・教育・生き方」にかかわる相談・支援を一括して受け付ける「総合相談支援センター」の具現化
⇒学校の保護者・市民対応の軽減



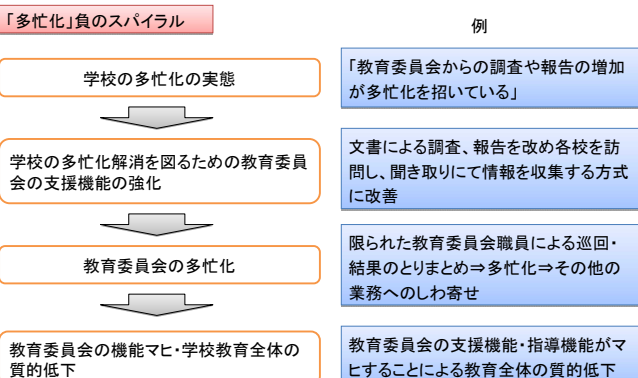
(参考)H24本市各校における業務改善にかかわる「一校一改善運動」

- 【清瀬小学校】
 - ・分掌の役割分担をベテラン教員と若手教員のチームとする(業務の効率化)
- 【芝山小学校】
 - ・事務主事・用務主事等を加えた学校経営支援会議を設置(業務の効率化)
 - ・5分掌から2分掌へ校内組織の整理統合(業務の効率化)
 - ・文書作成時の起案・決済システムの確認と徹底(業務の効率化)
- 【第三小学校】
 - ・非常勤教員による副校長業務の補佐(人的資源の活用)
- 【第四小学校】
 - ・公務PC内の共有フォルダの設定による情報共有と作業効率の向上(業務の効率化)
- 【第六小学校】
 - ・校務システム内の情報整理の励行(業務の効率化)

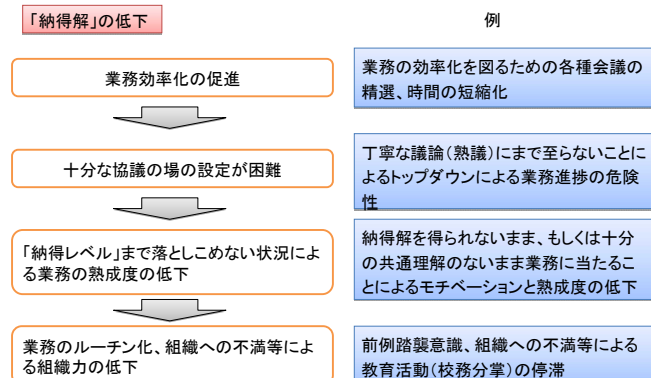
- 【第七小学校】
 - ・用務・事務主事等を加えた学校経営支援会議の設置(業務の効率化)(人的資源の活用)
 - ・簡易回議書等の活用による起案・決済システムの確立(業務の効率化)
- 【第八小学校】
 - ・職員室LANの活用を通じた情報共有の日常化(業務の効率化)
 - ・用務・事務主事等と管理職との定例連絡会の開催による作業の効率化(業務の効率化)
- 【第十小学校】
 - ・通知表記入におけるPCの活用(業務の効率化)
 - ・管理職・非常勤教員・用務主事の定例的な打ち合わせ会の実施(業務の効率化)
- 【清明小学校】
 - ・OJT推進による教員の力量(業務遂行力)の向上(業務の効率化)

- 【清瀬中学校】
 - ・研修部の新設による研修の活性化を通じた教師の力量形成(業務の効率化)
 - 【第二中学校】
 - ・花壇整備等校内整備におけるPTA、OBの活用(人的資源の活用)
 - ・校内整備等をマネジメントするプロジェクトの立ち上げ(業務の効率化)
- ## 国立第五小学校の取組を参照のこと
- 【第四中学校】
 - ・起案・決済システムの確実な遂行(業務の効率化)
 - ・職員会議の見直しによる研修内容の共有化(業務の効率化)
 - 【第五中学校】
 - ・非常勤教員の活用による副校長業務量の軽減(人的資源の活用)
 - ・主幹教諭の副校長補佐機能の強化による事務分担の見直し(業務の効率化)

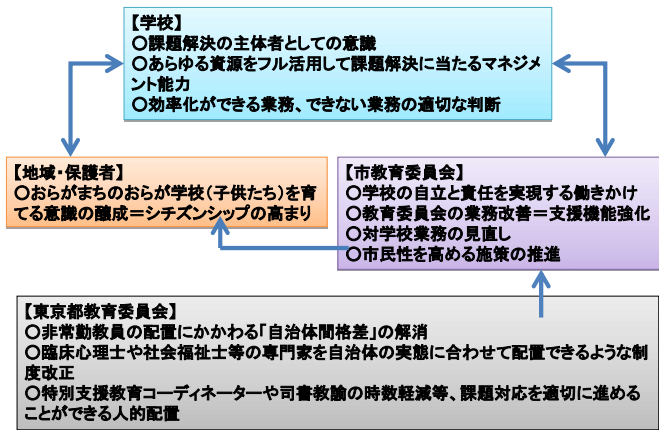
多忙化解消を含む校務改善を進めるうえでの課題(1)



多忙化解消を含む校務改善を進めるうえでの課題(2)



課題解決の考え方



終わりに

○「学校の多忙化」は、教育の質や教師の精神保健等の問題と直結しており、「学校教育を揺るがす課題」と表現しても過言ではない。

○しかし「学校の多忙化」の背景には社会全体が抱える様々な病理が潜んでおり、学校や教育委員会がいくら手を打っても根本的な問題解決には至らない。「教育再生」を目指すのであれば**国家レベルで向き合わなければならない課題**である。

○このような状況において、現場レベルで課題解決を図るためには、それぞれの組織が適切なリーダーシップのもと、自らの責任において業務の見直しを進めるとともに、自らの力を高めていく努力を重ねる他はない。「組織の力」を高めることを通して多忙化の課題が少しでも改善されれば、その成果は**子供の成長に必ずつながる**ことを決して忘れてたくない。

○多忙な中でも教師も学校も教育委員会も子供たちのために頑張っている。この「頑張り」が教育を支えている。この「頑張り」を一つでも多く子供たちの成長につなげるために、教育にかかわる一人一人が「校務改善」を真剣に考え、決して「人任せ」にするのではなく、「**できることをできる範囲**」で進めていくことが、今私たちが果たすべき「責務」であると考えている。

ご清聴ありがとうございました



清瀬市マスコット「ひいらぎちゃん」